

令和8年度 あさぎり町議会 第5回会議(9月定例会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
1	(1番議員) 小松 英一	1 住民協働事業について	本事業については、町民の皆さんの認知度が上がり、各地区をはじめとして、多種多様な事業が実施されている。そこで、以下の点について、事業内容の確認と今後の事業推進について問う。 ① 直近5年間の事業実績について 1) 事業に対する町の補助金額 2) 事業の実施主体 3) 事業の対象と内容 4) 事業効果 ② 今後の事業推進の方針について 1) 補助金額の引き上げ 2) 事業の対象の明確化	町長 教育長
		2 町民の健康づくりについて	町では、健康推進課をはじめとして、複数の課で町民の健康づくりに取り組んでいただいている。今後、人吉球磨地域の住民を対象にした、官民連携の新しい健康づくり事業を提起できないか、町の考えを問う。 ① 特に、若い世代や女性の間では、健康づくり意識が高く、自己投資の一つとして、健康ジムの利用を希望されている方もおられる。このような健康志向の高まりを受けて、新しい官民連携の取り組みを検討することはできないか。	町長
2	(7番議員) 橋本 誠	1 令和8年熊本地震及び異常気象における町の対応について	令和8年熊本地震は、令和8年7月28日16時27分に熊本県で発生した地震である。地震の規模は気象庁マグニチュード7.1、震源の深さは16 kmで、宇城市と八代郡氷川町で最大震度7を観測、あさぎり町でも震度5弱を観測した。 県内では平成28年熊本地震(2016年4月14日・16日)でも震度7を観測し、県央地区(「布田川・日奈久断層」)に甚大な被害を及ぼしたが、今回の地震は、幸いにもあさぎり町での被害は少なかったものの、県南地区(「日奈久断層」)に甚大な被害を及ぼした。なお、あさぎり町には、町の南縁に沿って「人吉盆地南縁断層」と呼ばれる活断層と「深田断層」が分布している。 更に、地球温暖化の影響による気候変動で今まで経験した事のない様な酷暑日が続いており、農地用水不足が深刻化している。 この様な状況を鑑み、以下の点について問う。 ① 令和8年熊本地震を受けての町の被害及び対応について 1) 町の被害状況 2) 町の対応 3) 今後の災害対策(地震及び水害) ② 異常気象における町の現状と対策について 1) 町の現状 2) 水不足対策	町長

令和8年度 あさぎり町議会 第5回会議(9月定例会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
3	(12番議員) 溝口 峰男	1 ふるさと納税返礼品の新商品開発等の取り組みについて	① あさぎり町には、熊本クラウンゴルフ場があるため、R7年度ゴルフ場利用税交付金560万円余が歳入されている。もっと交付金を増やすためには、町内外の利用者を増やすためにイベント等を開催するなど町も努力する必要があるのではないか。また、町の会員権は利用されているのか問う。 ② その手立てとして、ふるさと納税返礼品に「ゴルフ場利用券」を加えることはできないか問う。 ③ また、「ふるさと応援納税」電子クーポン事業では、宿泊も含まれているが、あさぎり町には宿泊施設も少ないので、町はPPP/PFI等でコンテナハウスを整備する計画だが実現可能か問う。 ④ ㈱あさぎり商社が商品開発を担っているが、新しく業務執行責任者を迎え、地域おこし協力隊とともに新商品開発に取り組んでいるが、現況と課題について問う。 ⑤ ふるさと納税R8年版全国ランキングでは、都城市全国3位216.46億円・甲佐町32位54.43億円・御船町55位41.4億円・管内10市町村でトップは水上村462位6.94億円である。あさぎり町は1321位である。 ㈱あさぎり商社のR8年度の事業計画は、「ふるさと納税年間寄付額1億円の達成を目標とする」とあるが、このような低い目標で満足しているのか。上位を目指すための方策を問う。	町長
		2 町長、議員選挙の財政負担の軽減と投票率向上の取り組みについて	① 来年は統一地方選挙の年で、あさぎり町も町長選挙が実施される。翌年は、議員選挙があるが、町民から同時選挙の要望書が提出され特別委員会で審議しているが、その理由には「財政負担の軽減と投票率の向上ができる」とある。 前回の質問では、投票率向上のために選挙管理委員会委員長に出席を求め移動投票所の設置等について質したが、効果は出ているのか問う。 ② 今回は、財政負担の軽減と投票率向上また、デジタル化の加速を図るために「電子投票の導入」ができないか。 宮崎県新富町は今年3月の選挙の投開票に電子投票を導入した。(ちなみに新富町はふるさと納税ランキング119位22.76億円である。) 電子投票のメリットは、「開票が迅速に行える。開票事務に従事する職員の数や作業を大幅に減らすことができる。疑問票や無効票がなくなる。また、自書が困難な有権者も容易に投票ができる。若い人の関心が高まる。」と考えるので、導入するための条例の検討を早急にすべきではないか問う。	町長 選挙管理委員会 委員長
		3 清願寺ダムの総貯水量330万m ³ の確保について	① 温暖化によって世界のあちこちで水不足が叫ばれている。あさぎり町でも幸野溝・百太郎溝・免田川等の水不足で田んぼはカラカラ状態である。このような事態に対応できるのはダムの貯水量であるが、清願寺ダムの貯水量は、近年の大雨のために土砂が流入し貯水量は減少し農家が必要とする水量が確保されていない。 毎年、熊本県が流入した土砂の浚渫を行い白髪岳の山腹に治山工事を実施しているが、総貯水量の確保は何年後を目途に浚渫しているのか問う。 ② 熊本県に対して、ダムの目的の一つである灌漑のために、総貯水量330万m³確保を早急実現してもらうための陳情は実施しているのか問う。	町長

令和8年度 あさぎり町議会 第5回会議(9月定例会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
4	(6番議員) 加賀山 瑞津子	1 安心して子育てを始めるための産後ケア事業の充実について	出産後の母親の心身の回復や育児不安の軽減を図る産後ケアは、安心して子育てを始めるために重要な支援である。本町の産後ケアの実施状況、利用状況、課題、周知や利用しやすい環境づくりについて問う。 また、将来安心して子供を産み育てるためには、子どもの頃から生命の尊さや自分の身体、性、妊娠・出産等について学ぶことも重要と考える。学校教育における取り組みと今後の連携について問う。	町長 教育長
		2 登下校時の突発的災害に備えた子どもの安全確保と地域の支援体制について	6月議会で、登下校時の地震等の突発的災害における子どもの安全確保と、子ども1110番の家の協力体制について質問した。その後、町内426世帯の子ども1110番の家に対し、どのような対応を行ったのか。 また、災害時にも子どもを受け入れ、安全確保につなげる地域の支援体制をどう構築していくのかを問う。	町長 教育長
5	(9番議員) 豊永 喜一	1 住宅の耐震化について	日本国内いつでもどこでも起こってもおかしくない大地震が、令和8年7月28日に、熊本県宇城市・氷川町を中心に発生した。 住家の被害状況は、熊本県で全壊1,474棟、半壊1,406棟、一部破損12,733棟 合計15,613棟(8/18現在)となっている。 このような大地震から、自らの生命・財産等を守るためには、住宅や建築物の耐震化を図ることが必要であり、所有者一人ひとりが、自らの問題として意識して取り組むことが重要と、国土交通省も示している。 町においては、大きな被害は見られなかったが、現状と課題・対策を問う。 ① 国・県・町の耐震化率について ② 旧耐震基準の住宅件数について ③ 耐震改修の費用負担について ④ 高齢者世帯などの対策について ⑤ 所有者への啓発・相談体制について	町長
		2 農地の大区画化について	農林水産省は、担い手への農地の集積・集約化や生産コストの低減、スマート農業の導入を進めるため、大区画化を重要な農業基盤整備として推進しているが、町の現状と課題を問う。 ① 国・県・町の現状について ② 所有者・耕作者間の合意形成について ③ 整備費用について ④ 生産コスト低減について ⑤ スマート農業との連携について	町長 農業委員会会長

令和8年度 あさぎり町議会 第5回会議(9月定例会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
6	(2番議員) 加藤 弘	1 選挙公約の履行状況及び進捗状況について	北口町長におかれては「人が輝き、心かよう町づくり」を掲げて、この3年半、強いリーダーシップと熱意を持って町政運営に邁進してこられた。4年の任期もいよいよ残り半年となり、今期の集大成、そしてラストスパートとなる極めて重要な時期を迎えられた。この残された半年間で、どのように確固たるものに、次の時代に繋げていかれるのか以下の公約4項目について問う。 ① 「子育て世代の経済的負担の軽減」について 1) 小・中学校給食の無償化 2) 給付型奨学金の創設 3) 地域社会体育組織（スポーツクラブ等の受け皿）体制の拡充 4) 小・中学校入学準備支援金の支給 5) 子ども医療費の窓口負担の無償化 6) 公約には無い、社会情勢の変化等に伴い実施した施策 ② 「高齢者が元気な町づくり」について 1) 地域サロン活動などへの支援の拡充 2) 経験を活かしたシニア世代の活動支援（介護サポーター等） 3) 公約には無い、社会情勢の変化等に伴い実施した施策 ③ 「安心・安全に暮らすことができる町づくり」について 1) 緊急性の高い上水道事業の整備 2) 乗合タクシー（買い物支援等）の利便性の向上 3) 地域の救急医療を守るため、公立多良木病院の応援 4) 球磨・人吉にある2つの消防組合の統合の実現 5) 公約には無い、社会情勢の変化等に伴い実施した施策 ④ 「産業が元気になる街づくり」について 1) 担い手、新規就農者、起業者等への支援 2) 物価高騰対策に対応した支援 3) 地域資源を活用した雇用の場の確保 4) インターネット環境の充実 5) スキルアップの為に資格取得の支援 6) 公約には無い、社会情勢の変化等に伴い実施した施策	町長
7	(3番議員) 小谷 節雄	1 北口町長就任後の町政執行状況の成果と今後の課題に対する認識について	コロナ禍の終息を迎えつつあった令和5年4月の町長就任以降、息つく暇もない状況下の3年半を過ごしてこられたものと推測するが、その間の町政執行状況と成果及び今後の課題等についての認識を問う。 ① 就任されるにあたって公約・所信表明等で述べておられた点について、この間の状況と現時点での自己評価について ② 公約等以外での重要案件についての認識と取り組み状況について ③ 本町・本圏域での今後の具体的課題認識について ④ 来春の町長選挙に対しての認識について	町長

令和8年度 あさぎり町議会 第5回会議(9月定例会) 一般質問通告書

質問順	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	質問の相手
8	(13番議員) 永井 英治	1 農業振興について	令和6年産米の品薄感による小売価格の高騰、いわゆる令和の米騒動をきっかけにして、本町でも令和7年産・令和8年産の主食用米の作付面積が増加している一方で、WCS用稲の作付面積が減少している。 そこで、主食用米やWCS用稲の作付面積の今後の動向、併せて、畜産農家の家畜の頭数とWCS用稲との面積の関係性等を問う。 また、近年の猛暑・酷暑の中の農作業では、熱中症になる方の話をよく耳にする。町としての熱中症予防啓発の方策を問う。	町長
		2 学校のプールの授業について	現在、全国的に学校のプールは老朽化し、やむなく水泳の授業を座学に切り替える学校もあると聞く。 そこで、本町の小中学校のプールを使用した水泳授業の現状とこれからの課題を問う。	町長 教育長